

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第15号 平成23年6月26日

サンデー幹男良く頑張った。たかあき嬉しい柵越え！

初回の守備と2回に凡打がゲームを決めた！

	1	2	3	4	5	6	7	R
R	2	0	0	2	2			6
G	3	0	0	0	2			5



6/26(日)週末連戦となった2試合目の公式戦、Vitoria 2 試合目を大黒埠頭公園野球場に出向きRetaunursと戦った。大黒は過去、何度も雨に泣かされたグラウンドであったが、土の入れ替えが功を奏したか、今日は無事プレイボールとなった。しかし、入ったばかりの外野の芝は若干坊主が伸びた感アリアリ。また、その坊主が湿っていたので、露が影響が出ない事を祈ったが、願いは届かず、終盤2回の魔が近寄り、ゲーム内容に影響を与えてしまった。先発は、サンデー幹男、プレイボールの直後の初球を左前に運ばれ、その後、2盗・3盗を決められ、早くも失点のピンチを迎える。後続には、ストレートの四球、またもや、2盗を決められ、場面は無死2・3塁、ここで後続が放った打球は、イージーな三塁ゴロ、これを焦った野手が、失策で失点、続く打者には、四球を許し、以前無死の状態は続く、ここで後続が放った打球は、前進守備を引いていたショートへの打球、ここはがっちり捕球したが、握り直して送球した分だけ送れ、ホームイン、その後捕手が一塁へ送球したが、これまた、セーフで以前無死の状態は続く。マウンドに上がったいた幹男がどげんかせんといかん！と感じ、三振に斬り一死、その後は、三塁ゴロの打球を今度は確実に捕球・送球し、5-2-3のDPでこの大量失点の場면을2点で切り上げた。これが、この裏の攻撃に火を付け、先頭は初球を死球で出塁、その後2盗を決め、無死2塁の場面、ここで、後続が高めを綺麗に右線に運び一挙三塁へ。続く打者は四球を選択し、無死1・3塁の得点場面に、今期好調を維持している頼れる4番が左中間に運び、ランナー2人を迎え入れ、一挙逆転を決めた。暫く膠着状態が続いたが、4回の相手攻撃、四球での出塁が利いて1点を献上、その後は、外野に飛んだ打球に芝の湿りが悪さをし、2点目を献上し、逆転を許してしまった。続く回にも、安打と四球が絡まり失点したが、今日2個目のDPで2点止まりとした。その裏の攻撃、一死後の打者深沢が今日3回目の四球を選択し出塁、その後牽制悪送球により、一挙三塁へ、後続が倒れたが、今日5番に入ったたかあきが、5球目を振りぬき、左越えのツーランを放ち、1点差まで詰め寄った。続く打者も遊内安で出塁したが、Greenが大好きな3塁ゴロを放ち、ゲームセットとなった。振り返ってみると、初回の無死からの残塁と、3回の残塁が結果として響く形となった。やはり、やるべき事が出来なかった、というのが今日の敗因であろう。まだまだゲームは続きます。しかし、打つボールを正しく叩いて、後ろにつなげる事が出来れば、野球は何かが起きる。突っ込む事無く、スイングすれば・・・

そういえば、変わった珍プレー、審判も人の子で、3回目の深沢の四球のシーンには、3ボールで四球を許していました。